



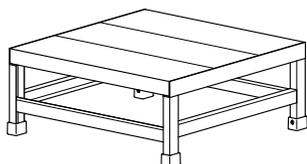
- 作業台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、作業台の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。



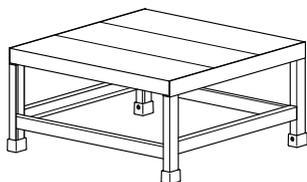
# アルミ製 溶接一体構造型 作業台 一段(完成品)

## 取扱説明書

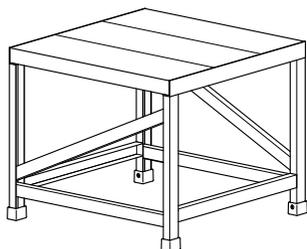
H250 タイプ



H300 タイプ



H500 タイプ



この度は、**TRUSCO**®アルミ製溶接一体構造型作業台 一段(完成品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、事故が起こらないよう内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。



情報、修理・故障の  
問い合わせはこちらの  
QRコードを読み取り  
アクセスいただけます。

### もくじ

表示マークについて	1
各部名称	1
安全のために、必ず守っていただきたいこと	2
ご使用前の点検	5
使用方法	6
1.設置場所について	6
2.昇降方法・作業方法	6
使用後のお手入れと保管	6
1.お手入れのしかた	6
2.保管のしかた	6
「故障かな?」と思ったら(不調診断)	7



# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

## 1. 使用条件について

### ⚠ 警告



禁止

作業台としての用途以外の  
使いかたをしないでください。

この製品は、高い所で作業するときの足場として作られた「作業台」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

### ⚠ 警告



強制

この製品は、本体表示ラベルでの  
最大使用質量の範囲内で使用し  
てください。

体重と荷物の合計重量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。

また、荷物はバランスの保てる程度の大きさや重さにしてください。

### ⚠ 警告



禁止

作業台を加工や  
改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

### ⚠ 警告



禁止

お子様や取扱説明書・警告ラベル  
の内容が理解できない人には、  
使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠ 注意



禁止

身体が下記の状態のときは、  
使わないでください。

- 疲れているとき
- 葉やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

### ⚠ 注意



強制

使用に適した服装で  
使ってください。

昇り降りや作業中に、製品に引掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

### ⚠ 注意



禁止

貼りつけてあるラベルが無くなっ  
たり、読めなくなった製品は使わ  
ないでください。

必ず、購入元から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー  
(1ページを参照)をご連絡ください。

### ⚠ 注意



強制

この製品を人に貸すときは、取扱  
説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

## 2. ご使用になる前に



**警告**



**強制**

使う前には、必ず「ご使用前の点検（5ページ参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



**警告**



**禁止**

変形した作業台を  
使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

## 3. 運ぶときは



**注意**



**禁止**

トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転倒する恐れがあります。



**注意**



**禁止**

持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

## 4. 設置する場所について



**危険**



**強制**

設置するときや持ち運ぶときは、配電線や電源コードなどに引っ掛けないように注意してください。



この製品は電気を通しますので、感電による重大な事故につながる危険があります。



**警告**



**禁止**

作業台が滑りやすい場所には、  
設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れると滑りやすい場所。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい地面や床。
- その他、滑りやすい場所。



**警告**



**禁止**

作業台が安定しない場所には、  
設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面で、作業台が安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- 作業台がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。



**警告**



**禁止**

雨の中や風の強い場所には、  
設置しないでください。

濡れた天板で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



**警告**



**禁止**

足元や周囲がはっきり見えない  
暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



天板が水平にならない場所には、設置しないでください。

安定が確保できないため、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、作業台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

**注意**



周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。

転倒や転落の恐れがあります。

## 5. 設置するとき

**警告**



作業台を高くするために、作業台にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

## 6. 昇り降りや作業をするとき

**危険**



天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。



バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。天板に乗るときは、身体が天板の中央になるように乗ってください。

**警告**



作業台から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



使用中、作業台の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。

無理に押ししたり、引いたりすると反動で作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



同時に2人以上乗らないでください。

作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、補助者が荷物を手渡してください。

**警告**



作業台を背にして、昇り降りしないでください。

身体が不安定となり、転倒や転落の恐れがあります。

**警告**



二つの作業台の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

作業台が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告



天板の上に台や物を置いて使わないでください。

禁止

台や物の上で滑って、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告



つなぎ材等に足をのせたり、体重をかけたりしないでください。

禁止

足が滑ったり、つなぎ材などの破損によって転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 注意



作業台は慎重に昇り降りし、飛び乗りや飛び降りは、しないでください。

禁止

傷害事故の恐れがあります。慎重に降りてください。

## ご利用前の点検

作業台をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対する処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

### 1.目で見て、下記の点検をしてください。

- ① 天板にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。(6ページ参照)
- ② 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。
- ③ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

- ④ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。
- ⑤ 滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**でください。必ず購入元までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱端具)と交換してください。

### 2.下記の箇所を触って点検をしてください。

- ① 天板および各部をねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

# 使用方法

## 1. 設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また作業台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 作業台の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は、作業台にガタツキなどがないか確認し、ある場合は作業台の位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。

## 2. 昇降方法・作業方法

- 運動靴などの滑りにくいはき物をはいてください。
- 清掃作業でお使いになるときは、作業台に水がかからないよう十分気をつけてご使用ください。
- 身体の前面を作業台の昇降面に向けて慎重に昇り降りしてください。
- 天板の上で作業するときは、身体が作業台から乗り出さないようにしてください。
- 天板に乗るときは、身体が天板の中央にくる位置に乗ってください。
- 作業台を移動するときは、作業台から降りて移動してください。

# 使用後のお手入れと保管のしかた

## 1. お手入れのしかた

作業台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

- ① 汚れは、濡れぞうきんできれいに拭き取ってください。
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ② 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

### 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

## 2. 保管のしかた

- ① 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
- ② 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

### 注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



- ビニール系の床シート、床タイル上で使用したり、長期間保存したりすると、端具の設置分に色移る場合がありますのでご注意ください。

# 「故障かな？」と思ったら(不調診断)

〈現象〉 • 設置面が水平なのにガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
作業台の支柱が曲がっていませんか。 特に、下部に曲がりやねじれはありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップ(端具支柱)が外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(購入元までご相談ください。)

## 警告



禁止

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直しても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

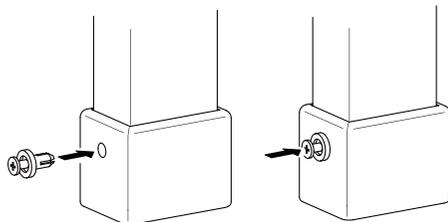
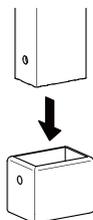
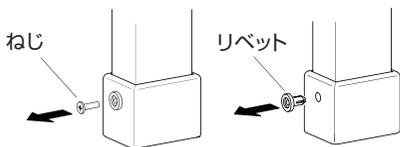
## 滑り止めキャップ(支柱端具)の取り外し方法

本製品の滑り止めキャップ(支柱端具)はお客様にて交換できる構造になっています。交換するときには下記の手順に従い、滑り止めキャップ(支柱端具)を固定している樹脂製のねじリベットを取り外してください。滑り止めキャップ(支柱端具)1個当たり、2ヶ所のねじリベットで固定しています。工具のプラスドライバーはおお客様でご用意ください。

## 注意

アルミの切断面は鋭利なため、けがをしないように注意してください。必要に応じて作業用手袋の着用をお勧めいたします。

- 1 プラスドライバーでねじリベット中心のねじを緩めて抜き取った後、リベット部を取り除きます。
- 2 滑り止めキャップ(支柱端具)を取り外し、新しいものと交換します。
- 3 新しいねじリベットを滑り止めキャップ(支柱端具)の穴に差し込みます。そのとき、ねじ部を押さないように注意してください。
- 4 ねじ部を奥までしっかり押さえ込みます。
- 5 滑り止めキャップ(支柱端具)が確実に固定されていることを確認してください。



総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室  **0120-509-849**  
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: [techno.center@trusco.co.jp](mailto:techno.center@trusco.co.jp)

<http://www.orange-book.com/>

ご不明な点は、お買い上げの販売店が弊社お客様相談室にご相談ください。※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

製造元 長谷川工業株式会社